

11月13日(木)、在レオン総領事館 首席領事 和田房恵氏を講師としてお招きし、今年度2回目の「先輩は語る」を実施しました。外交官の仕事の中で大切なことの一つ目は、「外国人の人・文化を理解したいという気持ちをもつこと」。二つ目は、「日本という国を愛する気持ち」だそうです。アグアスカリエンテス州の在住日本人は約1000人。ここに住む、私たち一人一人が「日本代表」であり、「小さな外交官」になります。和田さんは、「周りの人に日本の魅力を伝えて、日本のファンを作ってほしい。それは、スーパーでいさつすることでも十分。外国人の人と仲良くしたい気持ち、また、日本を愛する気持ちを大切にしながら、ぜひ日本とメキシコの架け橋になってほしい」とメッセージをいただきました。今回のお話を聞いて、将来、メキシコや他国と日本の架け橋として活躍する人になってほしいです。

